



6月

1日 津市立北立誠小学校の避難訓練

津市立北立誠小学校で「地震発生にともなう津波避難訓練」が行われ、教育学部の学生19名がボランティアとして参加しました。児童514名が37分かけて三重県総合文化センターへ避難しました。



6日 「科学的地域環境人材」育成事業 (SciLets) フォーラム

平成28年度から企業・自治体の環境担当者あるいは一般社会人、そして本学学生を対象として、地域で活躍できる環境人材を育成する「科学的地域環境人材育成事業」を開始しました。地域の環境を保全し、地域に多く存在する環境価値を利活用して地域の活性化を図ることを主な目的としています。このフォーラムはその内容を広く公開し、また「地域を支える環境人材」というテーマで企業、行政、学生との意見交換を行い、今後の方針の参考とすることを主な目的とし、開催されました。



8日 平成29年度 生命の駅伝がん研究奨励賞授与式

走りながら、がん研究の募金を呼び掛けるチャリティーイベント「第23回生命(いのち)の駅伝(EKIDEN for LIFE)」が5月14日～28日に県内を中心に行われました。昨年度から、新たな制度「生命の駅伝がん研究奨励賞」を設け、選考委員会により採択されたプロジェクトに、研究の支援金としてチャリティーイベントで集められた募金が授与されました。



10日 梅酒造り開始

今年も梅酒造りの活動が始まりました。主に梅の実のヘタ取りと洗浄を行いました。ヘタは洗味などの原因となるため、竹串で一つ一つ取り除きます。ヘタを取った梅の実は丁寧に洗った後にザルにあげ、2人がかりで酒蔵の中にあるタンクまで運びます。2007年から本学学生による日本酒造りが始まり、その2年後に始まった梅酒造りは今年で9年目になります。



7月 「国際忍者研究センター」

1日 設立記念セレモニー

伊賀サテライト内に「国際忍者研究センター」が設立されました。本センターは、伊賀地域を中心として忍者に関する教育研究を推進し、その成果を広く国内外に発信することにより、国際的な忍者研究の拠点として機能するとともに、伊賀の地域創生に資することを目的としています。これを記念し、同日セレモニーを開催し、約200名の方にご参加いただきました。



27日 林家菊丸三重大学社会連携 特任教授特別落語講座

講師の上方落語家林家菊丸さんは平成27年に三重大学社会連携特任教授に就任してから毎年度特別講座を開講しています。今年度の特別講座は、上方落語の「胴乱の幸助」を上演した後、「落語の構成力と笑いの普遍性」というテーマで講義をしていただきました。学外と学内からあわせて60名を超える来場者がありました。



30日 津なぎさまちフェスタ

「津なぎさまちフェスタ」は、津なぎさまちと中部国際空港間を高速船で繋ぐ海の道が開港したことを祝うイベントとして2005年から開催され、今年で12年目となります。朴恵淑人文学部教授と環境ISO学生委員会はエコ教室を運営し、エコすごろく、エコかるたを通じて環境について楽しく学べるイベントを企画しました。



8月 「忍びの里 伊賀」

5日 創生プロジェクト発足会

三重県と日本航空は2015年12月に「食」と「観光」に関する協定を締結後、日本航空の新ジャパンプロジェクトとして、伊勢の地を舞台とした旅プログラム「常若婚」が展開されています。この第2弾の企画として、「忍者」ゆかりの地である伊賀市において、歴史・文化を掘り下げ、本物を体験するプログラムを産学官民が連携して創出するため、三重大学・三重県・伊賀市・日本航空による協同事業『忍びの里 伊賀』創生プロジェクト』が発足しました。



8日 三重大学

9日 オープンキャンパス2017

8日に人文学部、生物資源学部、9日に医学部 医学科、医学部看護学科、10日に教育学部、工学部のオープンキャンパスが開催され、3日間で6216人の参加がありました。



8日 附属農場「夏休みこども体験学習

9日 めざせ!トマトマイスタープロジェクト」

26日 附属農場でのトマトの収穫から、トマトジャム 缶詰加工、ラベル作成など「高野尾花街道 朝津味」にて店頭飾りつけ、トマトジャムの販売を体験しました。全行程参加した参加者は「トマトマイスター認定証」が授与されました。8日は20名、9日は15名、26日は、29名の参加がありました。



9月 生物資源学研究科オープンラボ

1日 「産学官コミュニティシンポ2017」

オープンラボとは、研究科の教員と就職を意識する学部・大学院生が、地域の産業の方々と共に「地域に貢献する学問とは何か」を考えるイベントです。日頃教員と大学院生が研究室で行っている研究の成果を、農林水産・食品・バイオ・環境関連企業や公的機関の方々に紹介し、産業界の方々や情報交換することなどを目的として開催されました。



5日 第19回三重大サイエンスカフェ

「未来の都市計画を探る—歴史・文化資産を活かして未来のまちを創る—」と題して工学研究科 浅野聡准教授から、江戸時代の都市計画や、100年前に提案され世界的に影響を与えた未来の都市計画などの説明がありました。また、自身が案内人を務めたNHKの人気番組「プラタモリ」の話とともに、現在注目されている持続可能な都市を目指したまちの風土・歴史に合った固有のまちづくりについての紹介がありました。



24日 平成29年度 「みえ風水害対策の日シンポジウム」

三重県では、風水害対策の理解を深めるため、伊勢湾台風が上陸した9月26日を「みえ風水害対策の日」と定めています。本年は、「みえ風水害対策の日」にちなんで、風水害発生時の適切な避難行動のあり方や将来起こりうる風水害への備えについて改めて考え、災害に強い地域づくりを進めるため、「災害情報の伝達と避難行動」をテーマとしてシンポジウムを開催しました。



10月 保護者向け 「就職活動」についての説明会

学生、保護者の方あわせて749名の参加がありました。午前は全学説明会、午後は学部別説明会が行われました。保護者の皆様は午前、午後いずれも熱心に耳を傾けていました。



24日~ 27日 第24回Tri-U国際ジョイントセミナー & シンポジウム

Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウムは、三重大学(日本)、江蘇大学(中国)、チェンマイ大学(タイ)、2011年度に新たに加わったポゴール農科大学(インドネシア)の4つの大学が毎年交代で開催校となって開催する、学生を中心とした研究発表と国際交流を兼ねた研究発表会です。6カ国11大学から集まった100名を超える学生・教職員が口頭発表やポスター発表を行いました。



11月 第69回三重大学祭

3日 「千載一遇」 4日 今年のテーマは、一年に一回開催される三重大学祭を、参加するすべての人にとって、二度と訪れることはないかもしれないほどの恵まれた出会い「千載一遇」の機会・場にしたいという熱い願いが込められています。両日も天候に恵まれて、模擬店やメインステージでのイベント、サークル等の発表、バンド演奏、さらには子ども企画などが行われ、学生と来場者の活気で溢れていました。



気になるEXTRA

安否確認システムANPIC導入!

10月1日より安否確認システムANPICプラスを導入しました。大規模災害、パンデミック、国民保護事態等が発生した場合、一斉メールを配信し、安否の報告を求めるシステムです。安否報告を行う以外に、掲示板を用いて、大学の指示連絡を見ることが、保護者やご家族の方が登録者の安否と状況を確認することができます。

安否マン

